

歴史に立ち寄る



令和4年度埼玉県ふるさと創造資金の補助を受けて、
国指定史跡小倉城跡の周辺整備が進んでいます

案内板

国指定史跡小倉城跡駐車場に新しい案内板が設置されました。案内板には見学コースマップが表示しており、小倉城跡を周遊して楽しむことができる内容となっています。また、小倉地区にゆかりのある絵本作家・こわせもりやす氏に描いていただいたイラストともコラボ。案内板には、掲示板機能及びパンフレット設置機能も付いていますので、ここで情報収集をしてパンフレットを手に取り、より小倉城跡を楽しむことができるようになりました。

また、玉川温泉付近にも既存案内板を移設しました。玉川温泉から小倉城跡を抜けて周遊できるコースを案内しています。



遊歩道

国指定史跡小倉城跡の一部の遊歩道を整備しました。周辺の木を間伐し、その伐採した木をそのままウッドチップ材として活用し、遊歩道一面に敷き均しました。今までは鬱蒼としていて、ぬかるみで歩きにくかった場所も、太陽の光が届くようになり、ウッドチップによってとても歩きやすくなりました。森林浴とウッドチップのふかふかした心地よい感触が楽しめます。



遊歩道整備

案内板設置

※こわせもりやす氏の絵本は町立図書館で借りることができます。

こわせもりやす氏
イラスト

萩日吉神社のやぶさめ

令和5年1月15日(日) 埼玉県指定無形民俗文化財

3年に1度の流鏝馬が、令和5年1月15日(日)に萩日吉神社の特設馬場で執り行われます。流鏝馬は、馬を馳せながら弓的を射る行事で、中世武士の間で盛んに行われました。NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」では俳優・青木崇高が演じる木曾義仲が登場しましたが、「萩日吉神社のやぶさめ」は、その木曾義仲の家

臣と伝えられる明覚郷(現ときがわ町)の3氏と大河(現小川町)の4氏により、天福元年(1223)に奉納したのが始まりと伝えられています。伝統行事としての流鏝馬は、埼玉県内ではときがわ町と毛呂山町の2か所でしか伝えられていない貴重なもので、いずれも埼玉県指定無形民俗文化財となっています。

問 生涯学習課 ☎ 65-2656

なお、馬場を神馬が駆け抜ける「朝まとう」は10時頃から、実際に弓を射る「夕まとう」は15時頃から奉納されます。また、当日は会場周辺で交通規制が行われます。西平運動場などに臨時駐車場が設置されていますので、交通指導に従い通行していただきますようお願いいたします。

流鏝馬のコース・時間・行事

神馬と関係者の一行は、令和5年1月15日(日)に、次の日程(時間は目安)で萩日吉神社へ向かいます。

- 【明覚郷】
 - 7時00分 明覚郷当番家(大字馬場)出発
 - 四方固め等出陣の行事で矢を射る
 - 8時00分 八幡神社(大字桃木)ひき目、四方固めの行事で矢を射る
 - 8時40分 西平交差点(大字西平・滝の鼻公園下)
 - 8時50分 慈光寺女人堂(大字西平)慈光寺通拝、ひき目、四方固めの行事で矢を射る
 - 9時00分 萩日吉神社到着
- 【大河郷】
 - 7時00分 大河郷当番家(小川町)出発
 - 四方固め等出陣の行事で矢を射る
 - 7時30分 小川町内各所へ松郷時ふづうの愛宕様(大字雲河原)で矢を射る
 - 8時50分 西平交差点(大字西平・滝の鼻公園下)
 - 9時00分 慈光寺女人堂(大字西平)慈光寺通拝、ひき目、四方固めの行事で矢を射る
 - 9時10分 萩日吉神社到着
- 【萩日吉神社 特設会場】
 - 10時00分 朝まとう
 - 15時00分 夕まとう



無料送迎バス運行

西平運動場 流鏝馬 臨時駐車場	第二庁舎前	明覚駅 バス停	役場本庁舎 北側駐車場 臨時バス停
8:35 着 ←	8:20 発 ←	8:11 発 ←	8:00 発
10:05 着 ←	9:50 発 ←	9:40 発 ←	9:10 発
11:40 着 ←	11:25 発 ←	11:15 発 ←	10:50 発
12:30 発 →	12:45 着 →	12:49 着 →	13:00 着
13:35 着 ←	13:20 発 ←	13:10 発 ←	13:00 発
14:44 着 ←	14:19 発 ←	14:15 発 ←	14:05 発
14:45 発 →	15:00 着 →	15:04 着 →	15:12 着
16:30 発 →	16:45 着 →	16:49 着 →	16:57 着

